

「ふくしま女性活躍推進シンポジウム 2023」

—意思決定プロセスへの女性参画をめざして—

2023年8月4日

福島県国際女性教育振興会会津地区

参加報告

福島県男女共生センターで午後2時から4時30分まで、開催された。

まず、特別ゲスト資生堂のダイバーシティ&インクルージョン戦略推進部グループマネージャーの山本真希氏の「女性活躍推進」についての話があり、その次にトークセッションとして、司会進行を内堀雅雄福島県知事、出演者は前出の山本真希氏、会津オリンパス(株)渡部雅子氏、(株)小野中村菅野恭子氏、第一生命保険(株)小野哲義氏の4人でした。

資生堂は30年以上前から女性社員数が多く、女性活躍の事例としていつも取り上げられていた。それをずっと継続している。大会社の「会津オリンパス」は地元での優良企業で内視鏡は市場の7割を占めている。中小企業の建築業「小野中村」の事例、第一生命保険は外回り社員の8割が女性で占めており、会社において女性の活躍の場が多いと話された。

第2部は、「アンコンシャスバイアス」について守屋智敬氏からの講演があった。「人間は誰でも思い込みがある」ということについての話でした。話の合間に考える時間を3分間ずつ与えられ、考えるという学びができた。

第3部は活動発表で、本会が実施したアンケート「女性が抱える課題に対する意識調査」女性1000件の結果発表を副会長引地知子氏が行った。収入の不安定、女性が家事育児を義務化している固定観念、家庭内でジェンダー平等は確立していない。などが浮き彫りとなった。

令和4年5月に制定された「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」施行に向けて問題提起ができたと思う。

最後は福島県立医科大学保健科学部作業療法学科講師・浅尾章彦氏の「福島県浜通りに居住する女性高齢者の災害時の避難行動意図に関する調査研究」の発表があり、地域で暮らす健康な高齢者(女性)を災害時にどう支援すべきか?という問題提起があった。

「高齢女性を災害時の要配慮者と捉えられる一方で、地域にてコミュニティを形成して、活動する健康な女性高齢者がいる」という視点から、例えば、避難所を設営する際は、加齢による身体的及び生理的な変化への配慮を要する必要があることなどが提案された。

女性活躍の視点として、地域で互いに声を掛け合って避難行動をとる役割を担うことや避難所では彼女らの要望を反映し、運営にも部分参加することなども考えられると提案された。

充実した研修会であった。

以上

令和5年9月13日

2023年8月4日ふくしま女性活躍推進シンポジウム2023

収 支 決 算 書

収入の部

項 目	決算額	備 考
自己負担額	3,080	@1,540×2名 (鈴木二三子・大原尚子)
会津若松市助成金	3,000	対象経費の1/2 ※上限ひとり5,000円
合 計	6,080	

支出の部

項 目	決算額	備 考
交通費 (JR)	6,080	会津若松駅～二本松駅往復 @3,040×2名
合 計	6,080	